

令和4年度 弘前大学附属図書館利用者アンケート 実施報告

館内設備やサービスに関する利用状況や満足度、要望等を把握し、今後の図書館運営及びサービス改善の参考とするために、令和元年度より毎年利用者アンケートを実施しております。

皆様からいただいたご意見・ご要望にお応えできるよう、今後も図書館サービス向上に取り組んで参ります。ご回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

1. 実施方法

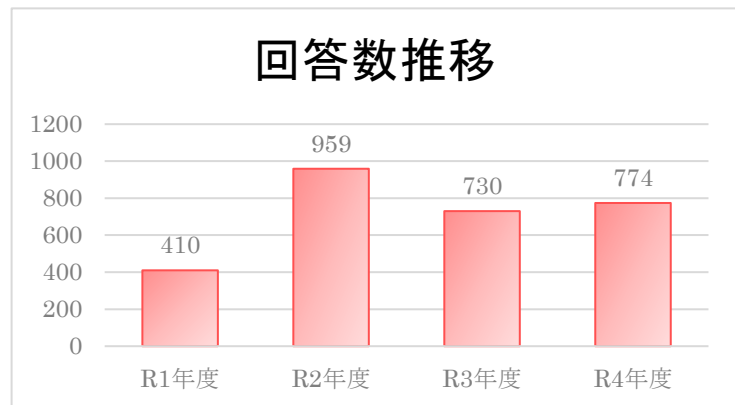
調査期間：2022年11月7日（月）～11月25日（金）

調査対象：学生、教職員

回答方法：Web フォーム

2. 回答数

Web フォーム	774
----------	-----

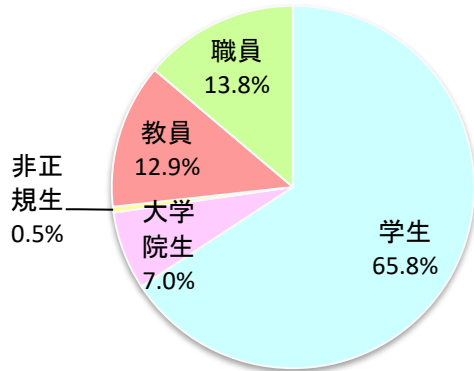


3. 回答結果

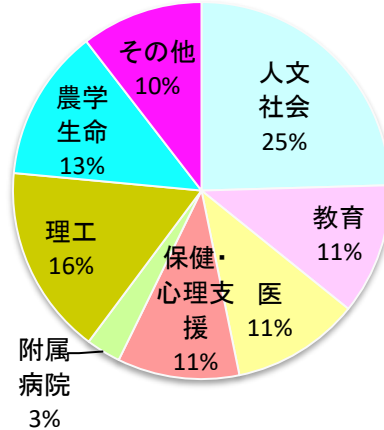
【設問1・2】回答者の所属・身分

	学生	大学院生	非正規生	教員	職員	計
人文社会科学部	159	7	1	18	5	190
教育学部	57	8	1	16	5	87
医学研究科	59	2		17	7	85
保健学研究科・ 心理支援科学科	66	3		10	2	81
附属病院		2		3	18	23
理工学研究科	91	15		12	8	126
農学生命科学部	77	5		13	6	101
上記以外		12	2	11	56	81
計	509	54	4	100	107	774

回答状況(身分別)



回答状況(所属別)

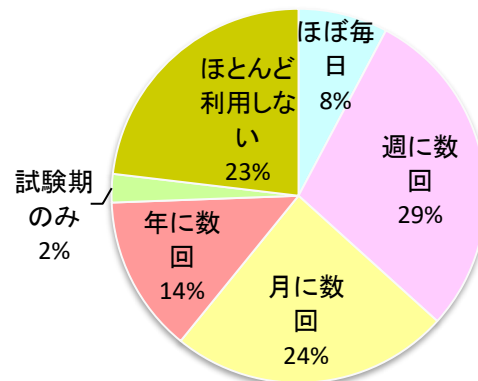


(利用状況)

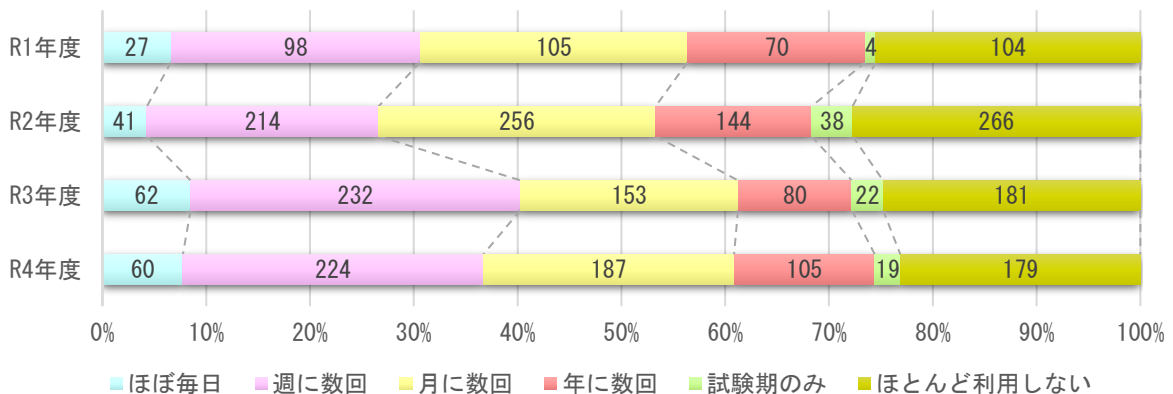
【設問3】図書館（文京キャンパスにある本館）をどのくらいの頻度で利用しますか？

ほぼ毎日	60
週に数回	224
月に数回	187
年に数回	105
試験期のみ	19
ほとんど利用しない	179
計	774

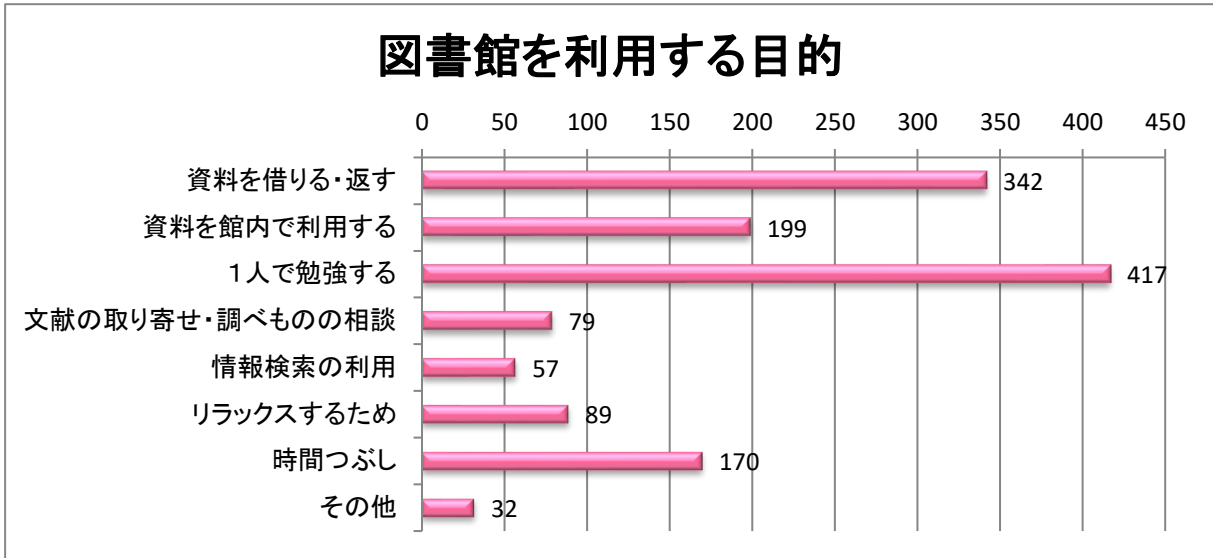
利用頻度



利用頻度 (年度比較)



【設問 4】 図書館を利用する主な目的は何ですか？（3つまで）

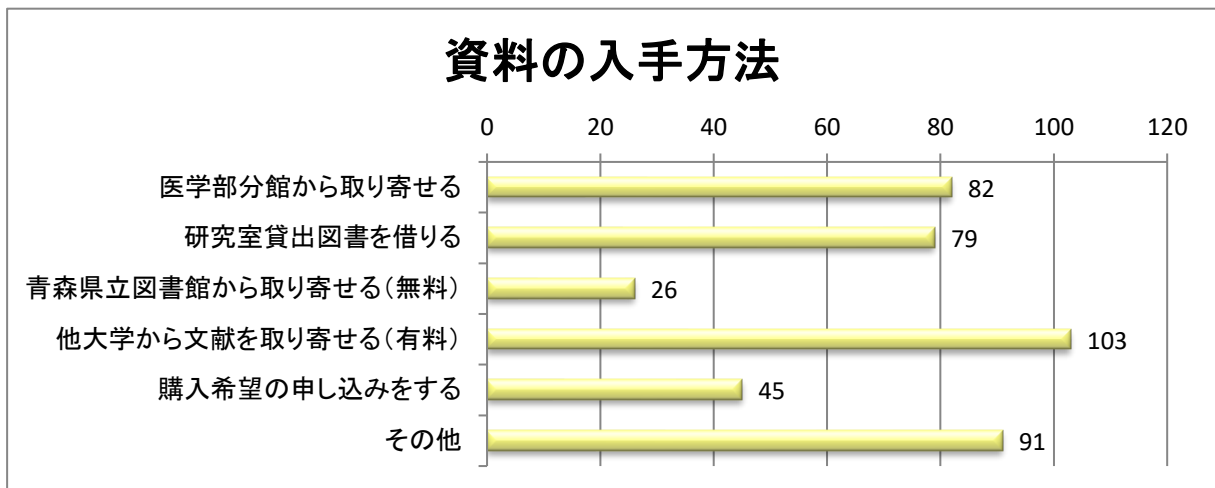


■ 「その他」の記述

- ・ 新聞の閲覧
- ・ 資料、文献のコピー
- ・ 読書
- ・ 雑誌を読む
- ・ 友人と勉強
- ・ 紙に絵を描くときの場所
- ・ 忘れた教科書の代わり
- ・ 打合せ・会議等
- ・ イベントの開催
- ・ ゼミ
- ・ 仕事
- ・ グループ・ラーニング・ルーム等の使用
- ・ 3階のパソコン室を利用
- ・ 資料の印刷
- ・ オンデマンド授業を受ける
- ・ 撮影
- ・ サークルの話し合い
- ・ 国立国会図書館デジタル資料のアクセス

【設問 5】 資料の入手方法についてお尋ねします。

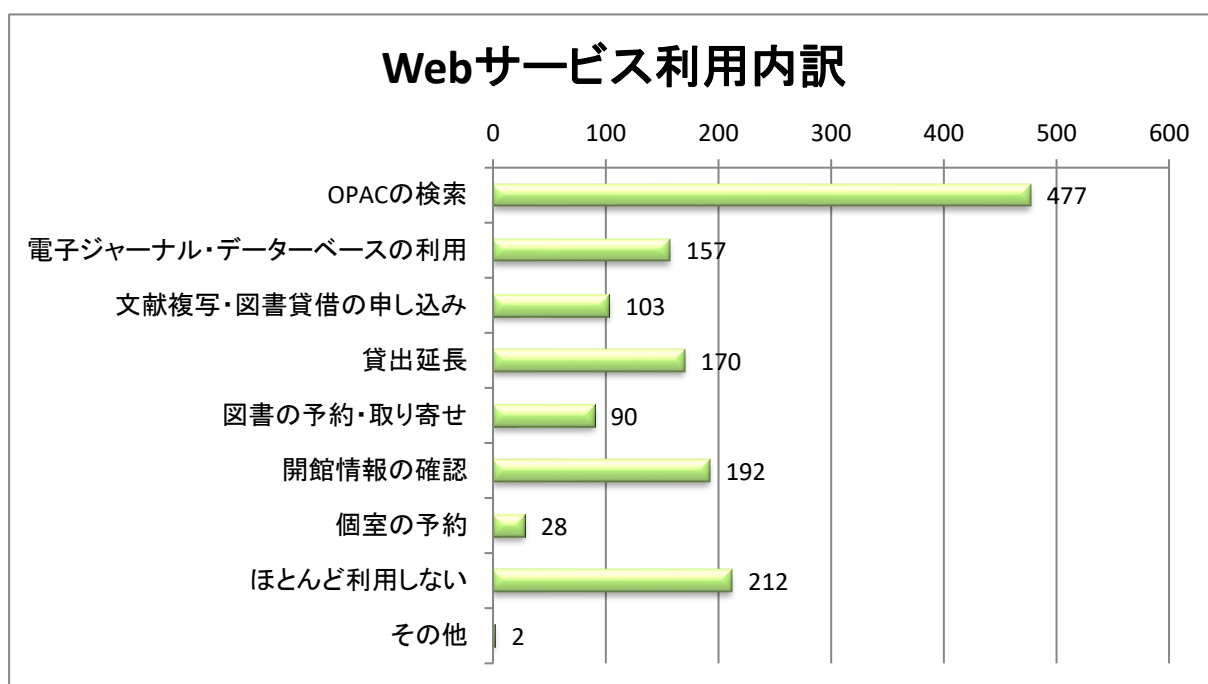
求めている資料が本館に無い時、次のサービスを利用したことはありますか？（複数回答可）



■「その他」の記述

- ・弘前市立図書館を利用する
- ・他大学図書館を利用（出かける）
- ・まず医学部分館を利用
- ・インターネットで探す
- ・ウェブ上で大体足りている
- ・国会図書館から取り寄せる
- ・自費で購入
- ・古本屋で購入する
- ・ネットで購入
- ・テレワーク主体の役員で、実際の大学勤務はほとんどありません。
- ・いずれも利用したことは無い
- ・まだ図書館を利用したことがありません。
- ・職員で図書館から資料を入手する必要がないため
- ・特に何もしない
- ・諦める
- ・なし

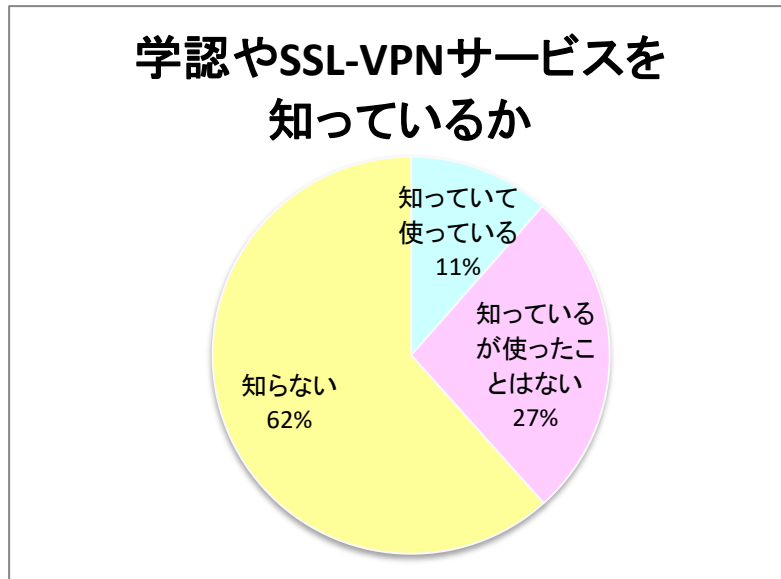
【設問 6】 図書館の Web サービスでは、何を利用していますか？



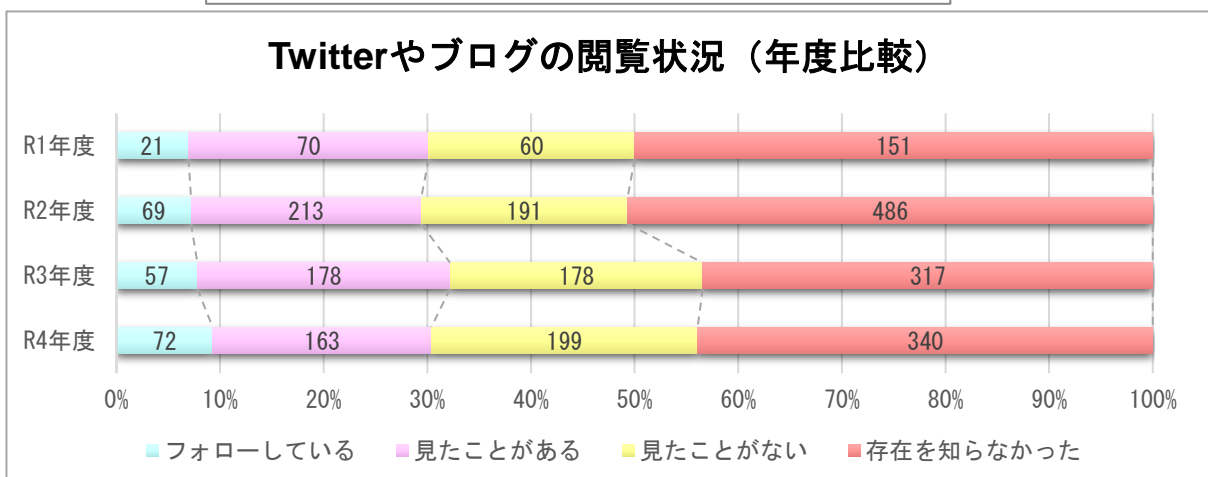
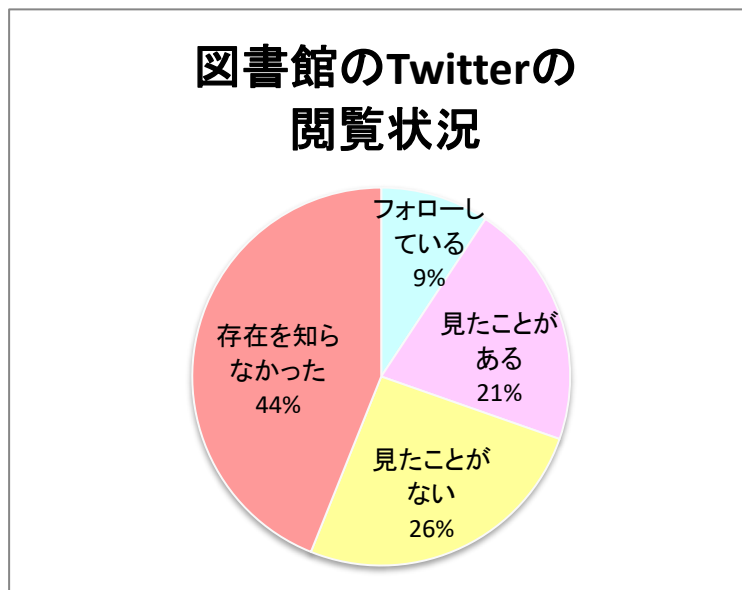
■その他

- ・利用したことがありません

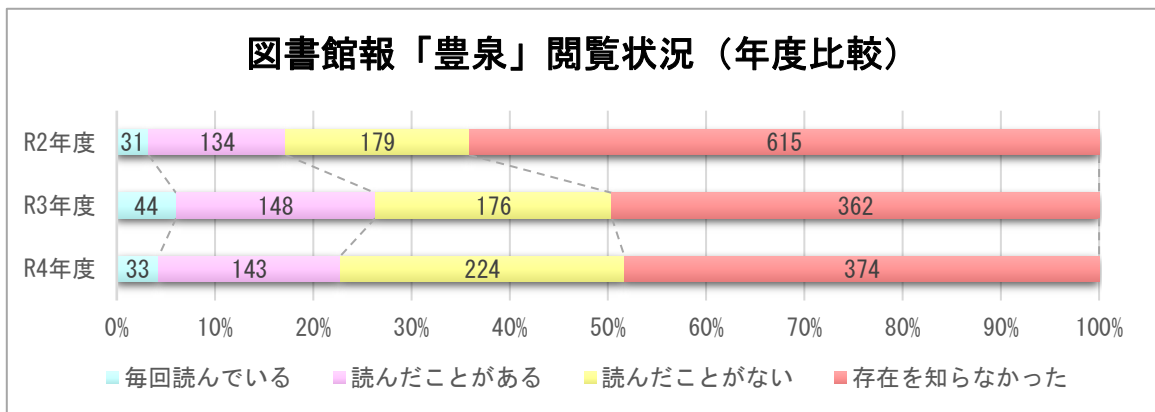
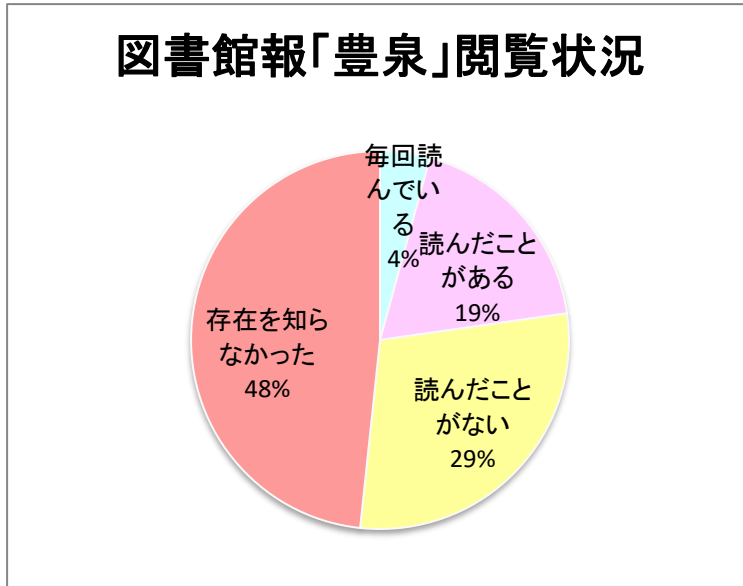
【設問 7】 電子ジャーナル・データベースを学外から使う方法（GakuNin（学認）やSSL-VPNサービス等）を知っていますか？



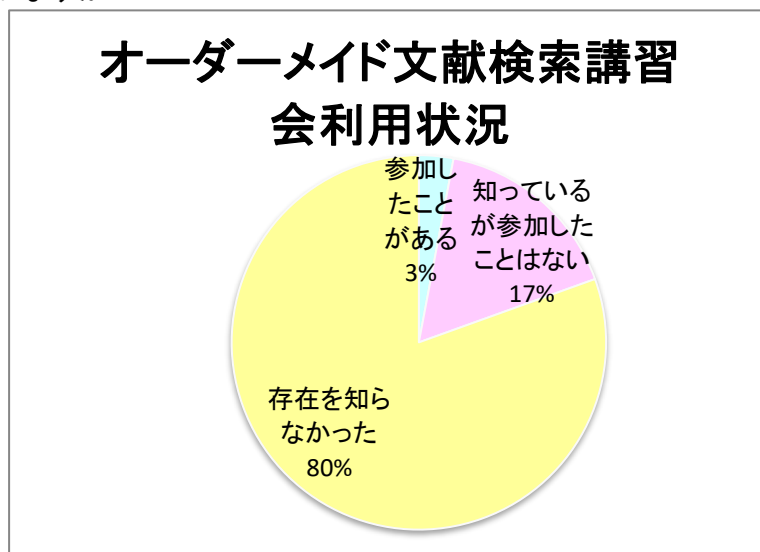
【設問 8】 図書館の Twitter を見たことがありますか？



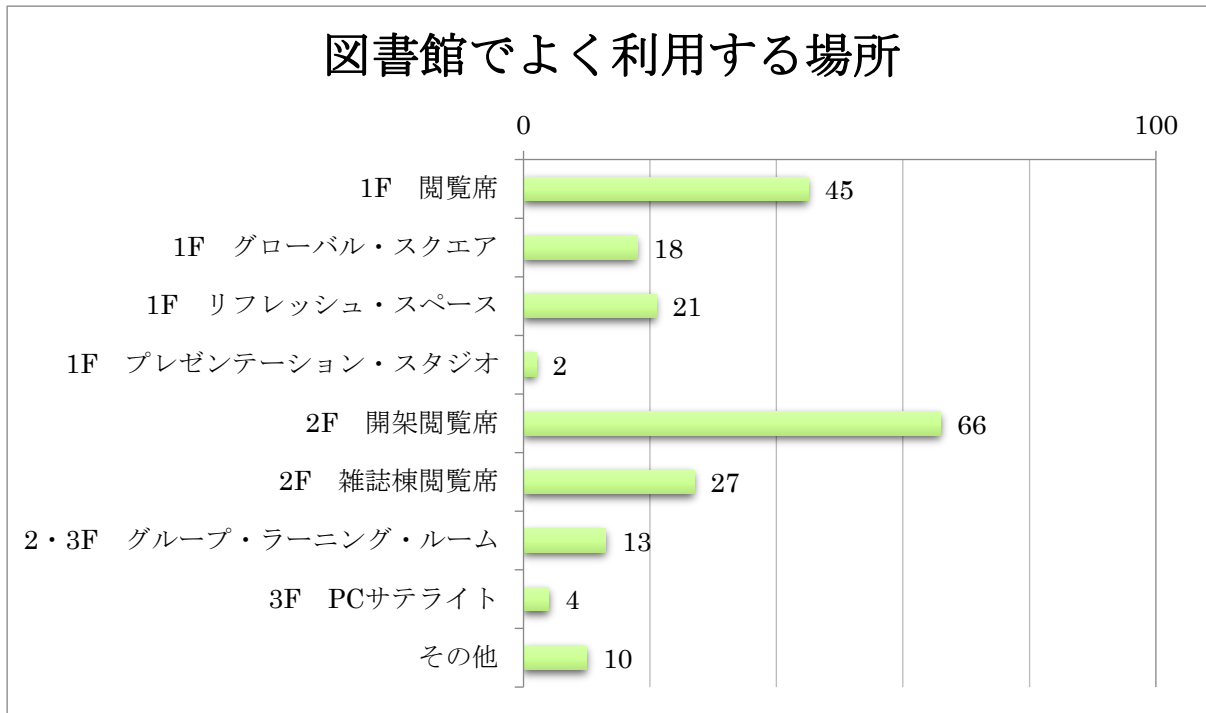
【設問 9】図書館報「豊泉」(年2回発行)を読んだことがありますか？



【設問 10】オーダーメイド文献検索講習会(対面・オンライン配信)を行っていることを知っていますか？



【設問 11】 図書館（本館）の中でよく利用する場所はどこですか？（複数回答可）

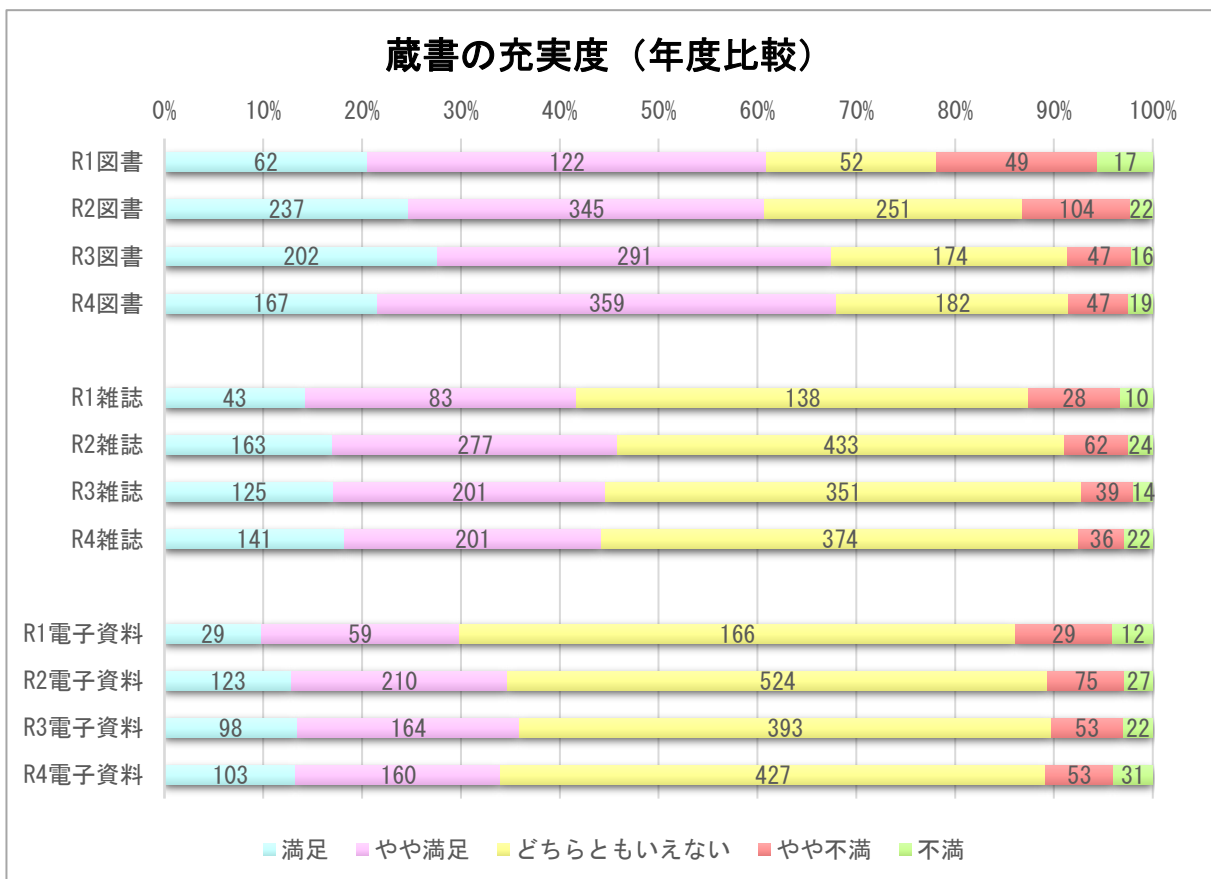
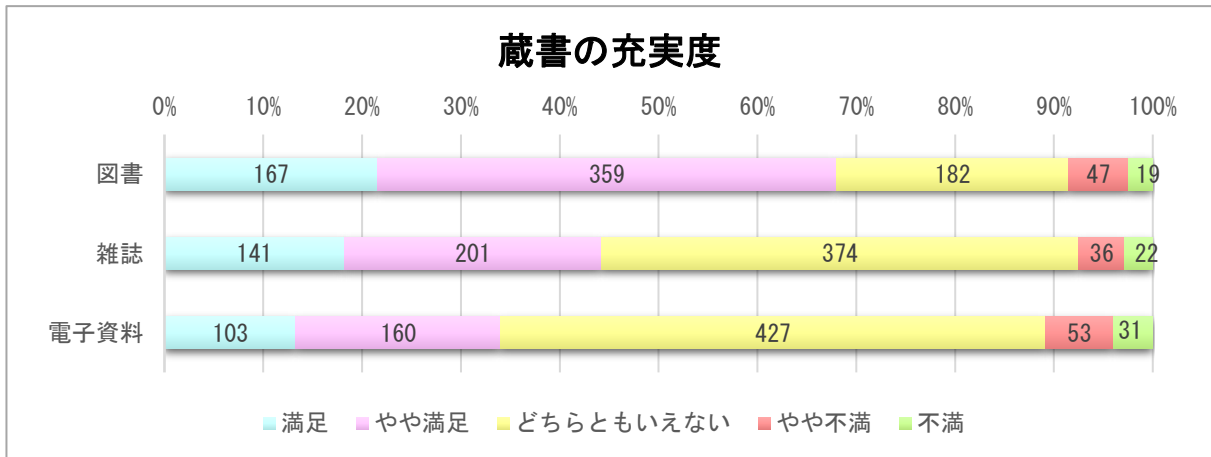


■その他

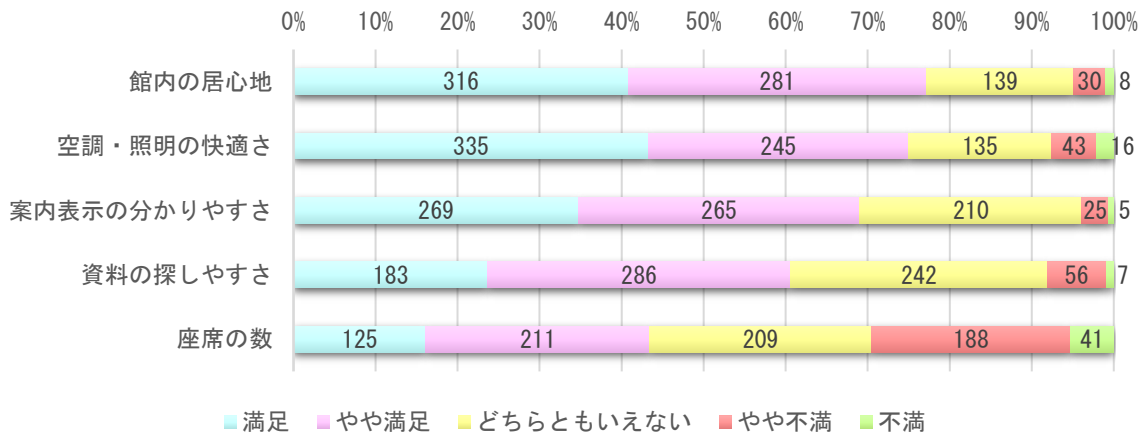
- ・ 雑誌
- ・ 閉架
- ・ 2F オープンラウンジ
- ・ 4F 雑誌棟
- ・ 利用しない
- ・ 本館は利用しない

(満足度)

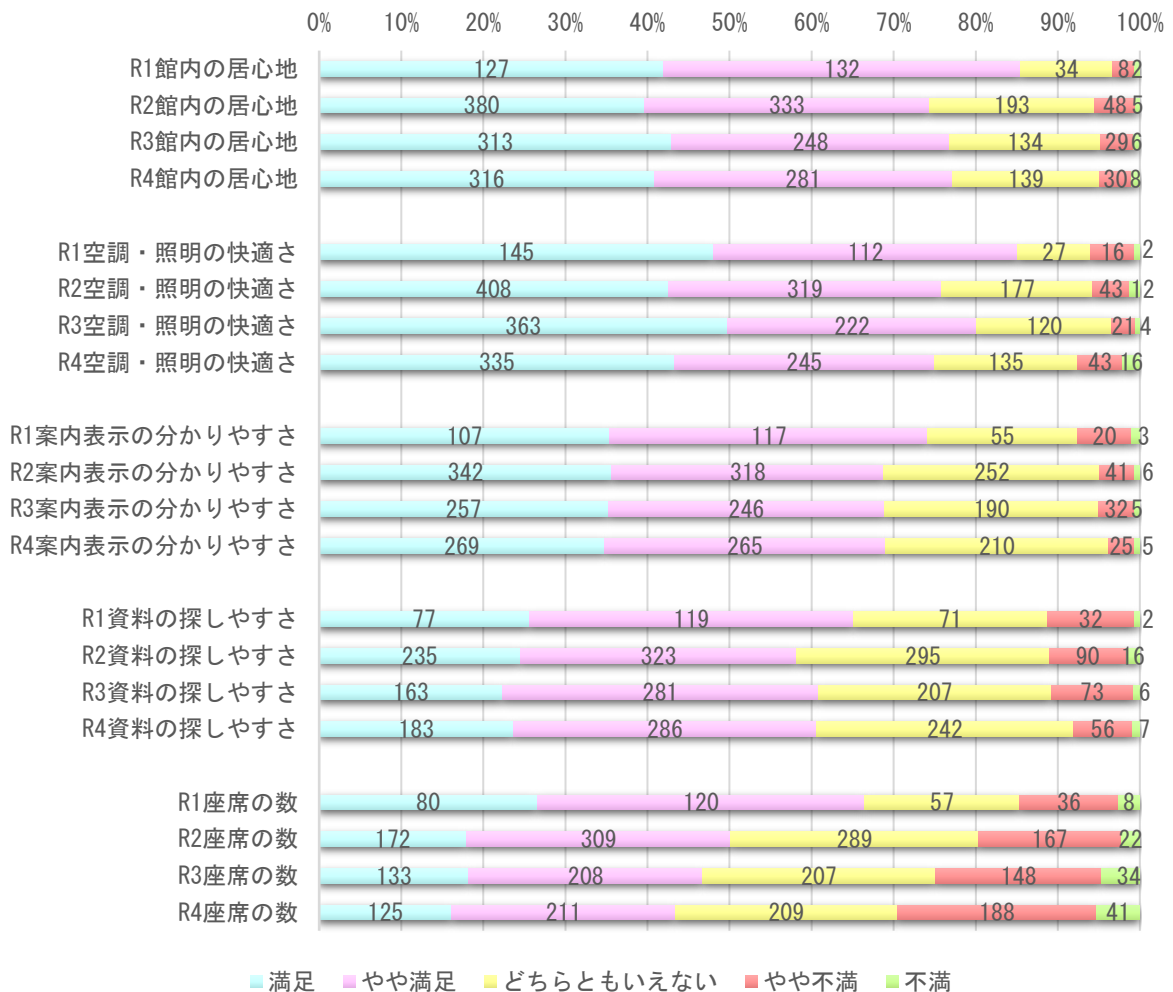
【設問 12】 次のサービスや施設・設備について、それぞれ最も当てはまる満足度を1つ選んでください。



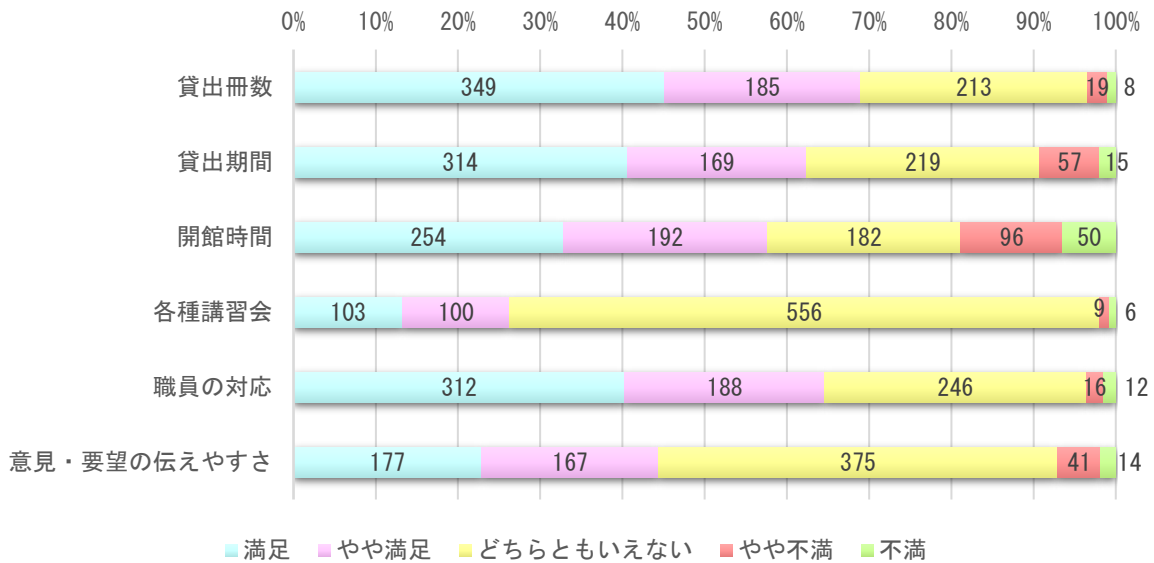
施設・設備の満足度



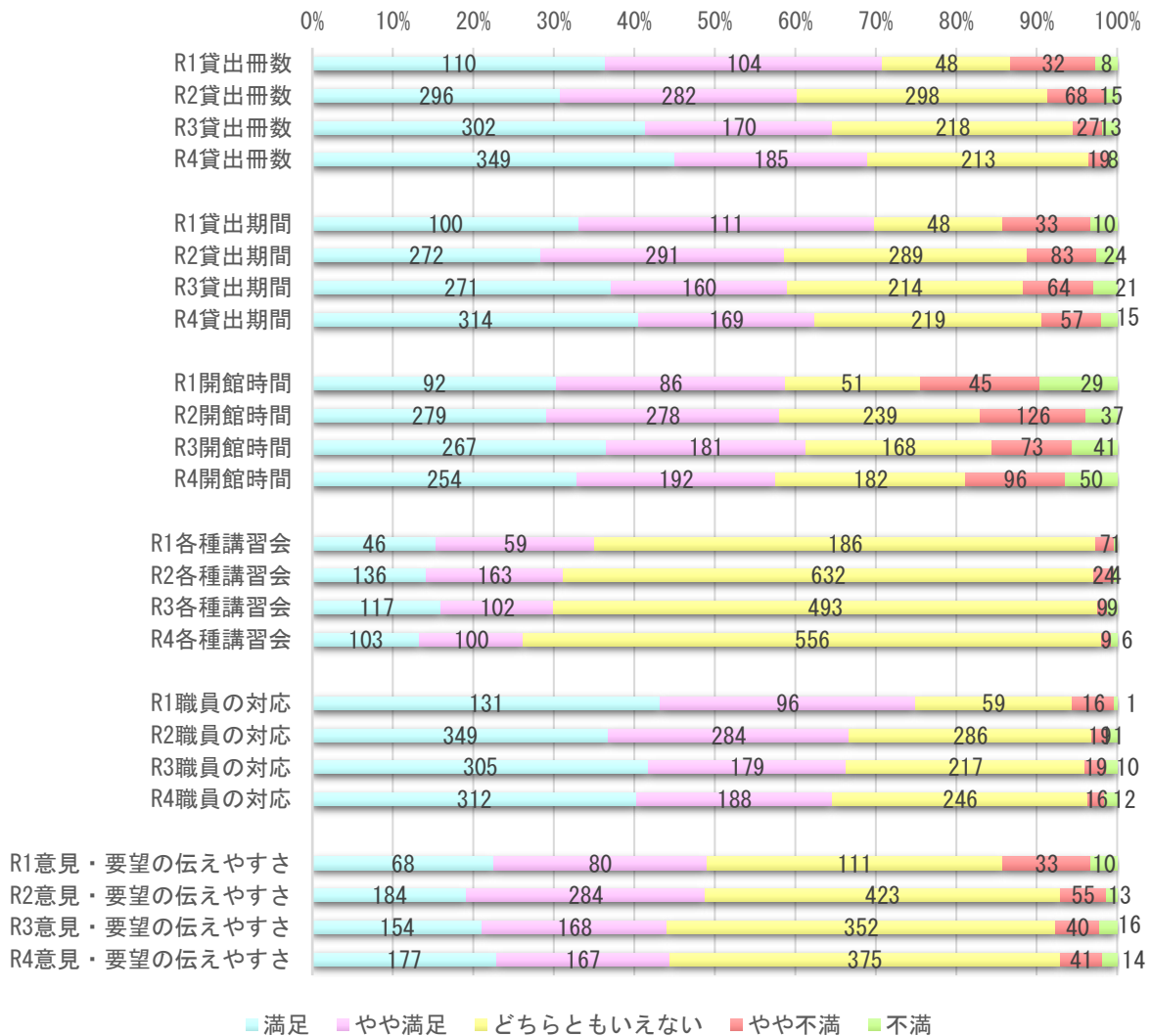
施設・設備の満足度(年度比較)



サービスの満足度

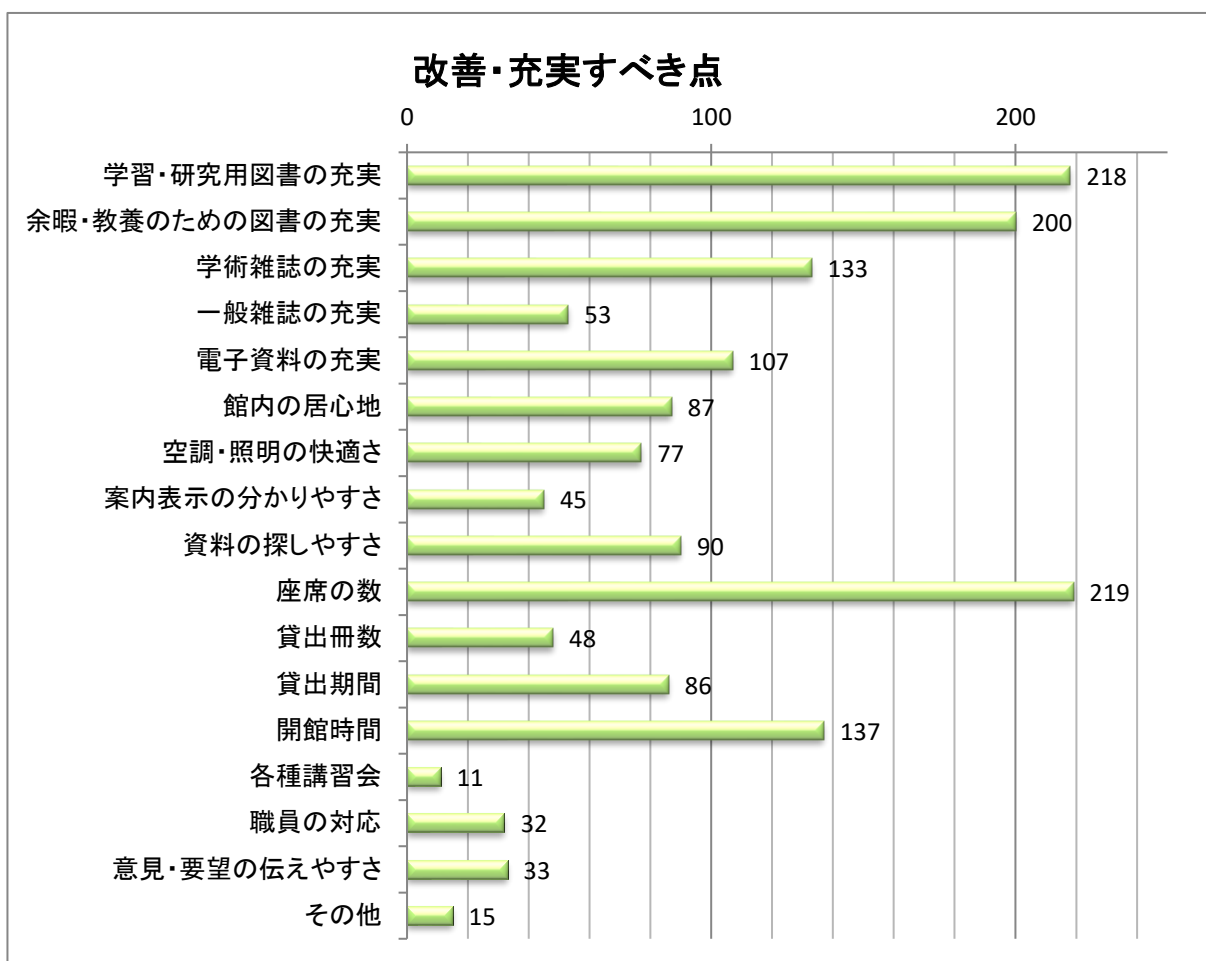


サービスの満足度（年度比較）



(今後への期待)

【設問 13】 図書館のサービスや施設・設備について、特に改善・充実すべき点があれば教えてください。(複数回答可)



■ 「その他」の記述

- ・ HP で DB が探しづらくなった点を改善してほしい
- ・ OPAC の件で、書庫に保管されている蔵書の所在情報はもう少し細かくなりませんか
- ・ グローバル・スクエアの音響設備を改善してほしい
- ・ 背中に空間のないスペースが欲しい
- ・ コンセントの使用できる座席数
- ・ 開館日を増やしていただきたい
- ・ 古本市場を文化祭時のように開催してほしい
- ・ 資料検索のための PC の増数
- ・ 十五少年漂流記のような中高でも読めた本を読みたい時があります
- ・ 賞を取ったような小説の類の本が一冊も見ることがない
- ・ 常勤の司書資格のある職員
- ・ 分館も充実させてほしい
- ・ 利用していないので回答できない
- ・ 利用向上に関する広報活動（利用したことがないため）
- ・ 空調の改善

【設問 14】最後に、図書館へのご意見・ご要望があればご記入ください。（自由回答）

※ご意見を抜粋して掲載しております。（◎は今回対応した事項）

◆ホームページ

・論文検索エンジン（CiNii など）やジャパンナレッジを図書館のホームページから使っていたのですが、ホームページをリニューアルしてからどこにあるのかが分かりにくくなったように感じます。それらがある項目をもう少し分かりやすくしてもらえると助かります。

◇2022年3月にホームページをリニューアルしました。現在、電子リソースは上部のメニューから選択できるようになっています。電子リソースは利用頻度の高いサービスですので、トップページにバナーを表示することを検討します。

◆座席数

・座席の数を増やしてほしいです。
・テストが近くなると座席数が足りなくなるため、テスト期間だけでももう少し座席がほしい。
・試験期間以外は座席数がちょうど良いが試験期間になると座席が埋まってしまっているため試験期間のみ勉強スペースを増やしてほしい。

◎新型コロナウイルスの感染者がなかなか減らない状況ではありますが、後期の試験期に合わせ、1月23日より、1人掛け閲覧席の間引きを一時的に撤去することにいたしました。間引き撤去にあたり、大学本部にも了解を取り、保健管理センターにも現場を確認していただきました。

◆コンセント

・コンセントの差し込み口がある座席数を増やして欲しいです。
・パソコンを使うことが多いので、学習スペースにもコンセントを設置して欲しい。

◇現在、全国的な光熱費高騰により、大学としては節電対策を実施しています。コンセント増設は確実に電気料増となるため、こちらも附属図書館独自の判断でできるものではなく、大学の方針に合わせることになります。

◆書庫

・書庫の入り口が空きっぱなしで寒い。最後まで閉める人が少なく、すぐに全開になって冷気が漏れている。前に伝えたにも関わらずまだ直っていないのでどうかしてほしい。

◎第1書庫1Fのドアについては、12月末に工事を行い、90度以下の角度の開閉でしたら、自動で閉まるようにしました。

◆空調・換気

- ・室温が冬は寒すぎるし夏は暑すぎると思います。。
- ・夏暑いので涼しくしてほしい。
- ・これからの時期暖房ついていると思うのですが、寒い時があのでもっと設定温度上げてもらえると嬉しいです。

◇ご自宅やアパートと同様、大学でも基本的に契約しているワット数を超えて電力を利用することはできません。限度を超えそうになるとデマンド警報が発令され、大学本部より節電するよう通達が来ます。つまり、特別に暑い日や寒い日ほど需要が高まる一方、各施設では節電を求められることとなります。附属病院の病室や授業の講義室は冷暖房を切ることができないので、附属図書館を含むそれ以外の場所で節電することとなります。

また、昨今の光熱費高騰により、デマンド警報が発令されない日でも、学内では恒常的に節電を求められています。今年度は昨年度の1.4倍の光熱費がかかっているとのことで、好きなだけ電気を使うことは大学の赤字拡大につながります。そのため、利用頻度の低い場所やインテリアランプの照明を消したり、デジタルサイネージのうち1台を使用しないようにしたりと、地道に節電しております。

利用者の皆様に快適な温度で利用していただきたいのは山々ですが、全学的かつ日常的に節電を求められている状況ですので、ご理解をお願いします。

◆飲食

- ・記載があるかもしれないが、飲食が可能なエリア、飲むことは可能なエリアがどこなのか分かりづらい。
- ・飲食できる座席を増やしてほしい、自販機を入れてほしい。
- ・2階の閲覧席での飲水を可能にして欲しいです。

◎食事可能なスペースや飲み物（密閉できる蓋付き）可のスペースについては利用案内に載っている他、館内掲示もしています。食事可のスペースは館内掲示板にも明示するようにいたします。

◇自動販売機や飲食可のスペース増加については、運営委員会等で検討するようにします。

◇密閉できる蓋付き飲み物は閲覧席で飲むことができます。

◆会話

- ・友達とわいわい話しながら勉強できるスペースがほしいです。
- ・図書館内での学生の私語を慎むようにしてほしい。

◇グループ・ラーニング・ルーム等の個室や、雑誌棟1Fのアカデミック・コモンズ、2Fのラーニング・コモンズでは、会話をしながら勉強することができます。ただし、あまり大声での

会話はお控えください。

◇サイレントゾーン以外では、大声を出さない会話は可としています。静かに勉強されたいときは、サイレントゾーンに当たる2階開架閲覧室、雑誌棟閲覧室をご利用ください。

◆開館時間

- ・ 土日の開館時間をもう少し伸ばしてほしいです。
- ・ 長期休業中について、土日も開館してほしい。
- ・ 夜遅くまで開館して欲しい。22時で閉まるのははやすぎる。

◇現在、土日および休業期の入館者数は平日の1~3割といったところです。利用者数が少なくても、人件費や光熱費は授業期とほぼ変わりません。利用したい時にいつでも使えるようになってほしいというお気持ちは理解できますが、大学の財政は年々厳しくなっており、少数の利用者のために多大な費用をかけて開館時間を増やすことは難しいです。

◇調べたところ、国立で22時より遅い時間まで開館している中規模総合大学はごく少数です。24時間開館を実施しているところはほとんどありません。当館の開館時間は同規模国立大学の中でも長い方にあたります。また、職員なしで開館することは、費用の面だけでなく安全管理や防犯の面でもリスクが高いです。また、アルバイト学生の睡眠時間や、帰宅時の安全性なども無視できない問題かと思えます。

◆利用

- ・ 非常勤職員も利用できるとうれしいです。
- ・ 附属学校職員への利用を促すようなことがあっても良い気がします。現状では、まったく利用していない職員がほとんどです。
- ・ どのような場として活用しても良いのか、アナウンスいただけますと助かります。利用したことがないので、利用方法から教えてください。また、打合せ、懇談会などに利用できるのかどうか、飲食はできるのか、等

◇非常勤職員の方も、常勤職員と同様にご利用いただけます。利用期限は任期に合わせていますので、1年契約の方の場合は毎年の更新が必要になります。他の条件は常勤職員と同等です。

◎図書館報「豊泉」を送付時に利用案内を添付するといった方法で、附属学校の教職員も利用可能なことをお伝えしようと思えます。

◇利用案内を無料で配布していますので、ご覧ください。図書館ホームページにも掲載していません。個室もありますので、少人数の打ち合わせや授業、イベント等にもご利用いただけます。一部の場所を除き、密閉できる蓋付き飲み物は持ち込みできますが、食事ができるのはリフレッシュ・スペースのみです。

◆貸出期間

- ・貸し出し期間を伸ばしてほしいです。
- ・貸出期間前日や前々日に知らせメールを送っていただけると助かります。

◇図書の場合、2回まで延長できますので、最長6週間借りることができます。MyLibraryでも延長手続きができますので、ぜひご利用ください。

◇現在、返却期限日の前日にお知らせメールが自動的に送られるようになっています。MyLibraryには大学以外のメールも追加で1つ登録できますので、スマホのメールに届くようにもできます。

◆図書の返却

- ・本を返却するときは入口のところにその本を置くとなっておりますが、返却してそのまま次の本を借りようとする、返却処理をしてくれていないことで借りれない時がたまにあります。結局入口に置いてた本をまたとって、「これ返却したいんですけど……」とわざわざ持っていくことになるのか少し嫌でした。早めにやって貰えると助かります。

◇図書の返却は、カウンターで返却手続きをする、自動貸出返却機で返却手続きをする、返却手続きをせず返本台に置く、ブックポストに入れる、という複数の方法があります。案内文に「後ほど処理します」「決まった時間に処理します」とありますように、後者2つは処理されるまでにタイムラグが生じますので、すぐに別の図書を借りたいという場合は、前者2つのいずれかで返却処理されることをお勧めします。

◆研究室貸出図書

- ・研究室貸出がどうすれば借りられるものなのか、いまいち分からない。

◇申込用紙に記入してカウンターに提出してください。職員から図書をお持ちの先生に連絡し、一時的に貸してもらえよう、お願いします。図書を借りられましたら申し込んだ方にメールで連絡しますので、カウンターで貸出手続きをしてください。返却する場合も図書館経由で先生にお返しします。通常2週間の貸出期間としておりますが、先生のご都合で貸出期間が短くなる場合があります。

◆自動貸出返却装置

- ・自動貸出機を2階にも設置してほしい。

◇自動貸出返却装置は大変高価な機械ですので、もう1台購入するのは難しいです。また、利用方法が良くわからない、返却しようとしたが延滞になっていて機械では返却できない、付録付き図書なのでカウンターでなければ貸出できない等、職員が対応する必要があることも多く、職員が近くにいる場所で運用するのが最善かと思えます。

◆文献複写・相互貸借

・過去に文献複写サービスを利用しようと思ったが資格がないと表示が出てどうしたらいいのかよくわからなかったので使わなくなりました。

◇学生や事務職員の方が MyLibrary で文献複写サービスを利用するには、事前に附属図書館1階の参考調査カウンター、もしくは医学部分館カウンターへの申請が必要になります。教員の方は、最初から利用可能な設定にしています。

・青森県立図書館との連携を知らなかった。弘前市立にもなくて困ったことがあったので、もっと早く知りたかった。

◇新入生ガイダンスでは毎年紹介していますが、教職員の方は知らない方もいらっしゃるかもしれません。周知するようにいたします。

◆図書選定

・小説をたくさん置いて欲しい
・流行の小説をもっと増やしてほしい。芥川賞、直木賞の作品以外でも、著名な作家の小説を増やしてほしい。
・理系の新しい本が少ない。情報は変わるしわかりやすくなっていると思うので定期的に新しくしてほしい
・キャリアに関する図書をもっと購入してほしい。

◇令和2年度から芥川賞・直木賞・本屋大賞の候補作を購入しています。また、文藝雑誌の書評欄掲載図書を毎月購入しています。小説の購入も増えていますので、是非ご利用ください。

◇図書の選定にあたっては主に次の方法により選定しております。

1. 各学部からの選定（年2回）
2. 新任教員による選定（年1回）
3. 新聞や雑誌の書評欄掲載の新刊図書（毎月）
4. 芥川賞・直木賞・本屋大賞ノミネート作品
5. 利用者希望図書
6. Book Hunting

予算を上記の区分で配分し、選書されたものは全て図書選定委員会の確認を経てから購入しております。

皆様からの様々なご意見を受け、限られた予算の中でもより良い選書を行い、蔵書が充実するよう努めます。

小説を増やしてほしいというご意見が多いため、来年度は現代文学に詳しい教員に小説・文芸書類を選定していただき、小説の購入を少し増やす予定です。

◆図書館利用者希望図書

・ 図書館に入荷してほしい本を依頼できるのかどうか知りたい。

◇利用者希望図書の制度があり、年間5冊までリクエストすることができます。詳しくは、図書館 HP の図書購入リクエスト (<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/student/subscription/>) をご覧ください。年2回の Book Hunting に参加して、ご自分で図書を選ぶこともできます。

◆図書登録

・ 研究費で購入する資料について、図書館にお願いするとたいへんに時間がかかり（生協なら1週間で届く物が、2ヶ月以上かかりました）、さらに、図書の登録もきわめて煩雑で困っています（生協で発注した図書を事務室に持ち込んで登録をお願いすることが多いですが、ルーティンワークとなっている様子がありません。みなさん一体どうなさっているのでしょうか）。資料の登録を簡便に行えるシステムを整えていただけると助かります。

◇図書登録に時間がかかり、大変申し訳ございません。早めに先生のお手元に届くように、図書館分より優先して処理するよう手順を見直しておりますので、今後も図書登録にご協力くださるようお願いいたします。なお、図書館 HP に「研究費での図書購入方法」 (<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/teacher/expenses/>) を掲載しておりますので、ご参考にしてください。

◆電子ジャーナル・データベース

・ 電子資料の拡充をお願いします。
来年から本格的に人文系のゼミに所属しますが、今ですら蔵書や他施設の借用だけでは限界があると感じています。正直、足りないです。

◎電子ジャーナルの整備状況については、分野バランスの是正が課題となっておりますが、その対策として2023年1月より、文系分野の学術雑誌を多く搭載した製品 ProQuest Research Library を導入し、約5,000タイトルを追加しました。予算が限られているためすべての学問分野を網羅することは難しく、今後も多くの課題はありますが、少しでも学習・研究環境の改善につながれば幸いです。

・ 電子ジャーナルは以前と比べたら充実しているが、時々読めないものがあるので改善してほしい。インパクトファクターを調べるために Journal Citation Reports をよく使っていたが、利用できるようにしてほしい。

◇Journal of Citation Reports は Web of Science とセットで契約を継続しています。附属図書館 Web サイト→電子リソース一覧にリンクを掲載しておりますので、ご利用ください。また Web of Science の画面からもリンクがあります。

◆雑誌

・ 学術雑誌の充実は困難かと思いますが、よろしくお願ひします。オンラインも良いですが、契約を切られるとそれまで見れていたものも見れなくなるのも困るので、冊子体があると安心です。ただ、スペースの問題はあると思うので、法的に可能ならば、冊子体を電子化する方向はできないのでしょうか。

◇ 冊子体を独自で電子化することは著作権法違反になりますのでできません。図書館では書庫の狭隘化解消のため、永続的にアクセスすることのできる電子版のバックファイルを整備し、冊子体との置き換えを定期的に行っております。大型のパッケージ製品の場合は収録タイトル数が数百～数千にのぼりますので、その冊子体も併せて保管するのは難しいですが、利用の多いタイトルについては上述のような形で永続的アクセスを確保して行きたいと思ひます。

◆新聞

・ 『東奥日報』の縮刷版を置いて欲しい。

◇ 『東奥日報』は縮刷版が刊行されていません。縮刷版に相当するものとして、ひと月分を検索できる CD-ROM 及び DVD-ROM がありますので参考調査カウンターでお問合せください。

◆医学部分館

・ 本町キャンパスの図書館がどこにあるか分かりにくかったです。

◇ 附属図書館 HP に案内図が掲載されておりますのでご利用ください。

https://ul.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/01/Access_Bunkan.pdf

・ 小説をもっと置いてほしいです。少し空調が寒いです。貸出期間を 2 週間にしてほしいです。

◇ 医学部分館では文庫コーナーを設置しております。またリクエストカードも用意しておりますのでお気軽にお申し込みください。空調に関しては室温が推奨されている 20℃になるよう調整しておりますのでご協力をお願いします。貸出期間につきましてはなるべく多くの人が閲覧の機会を得られるように設定しております。計画的な学習をお願いします。

・ 貸出冊数を増やして、貸出期間も延ばして欲しい。

仕切りで区切られた学習スペースに電源コードがないのが非常に不便。

また、附属図書館の暗い雰囲気が好きではないので勉強をするなら文京の図書館に行っている。

◇貸出期間及び冊数につきましてはなるべく多くの人が閲覧の機会を得られるように設定しております。計画的な学習をお願いします。また電源につきましては各エリアごとの電源の容量に上限がありますので決められた席でご利用ください。また省エネルギーのため一部照明を間引いておりますが、照明付きの机では卓上の照度が必要以上になるように設計されておりますので、こちらの方をご利用ください。

・医学部分館の新聞の数を増やしてほしい。また、新聞閲覧スペースの机と椅子が利用しにくい。

◇インターネットの発達により新聞の利用者が減少しており経費節減のために購読タイトルを絞っております。近隣の市立図書館でも各種新聞を購読しておりますので併せてご利用ください。また新聞閲覧机につきましては学習用席数を確保するために学習机に転用しております。ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

・医学部分館のコンセントの少なさが異常なので、可能であればもう少し増やしてほしいです。また、暖房がもう少し暖かいとより使いたくなるなと思います。

◇コンセントにつきましては館内各エリアの電源容量の限界がありますので、決められた席でご利用ください。室温につきましては厚生労働省推奨の 20 度に設定しております。ウォームビズでご協力くださいますようお願いいたします。

・医学部分館にもラーニング・commonsなどのスペースがあるとよいと思う。

◇大学に設置の要望は出しておりますが対応まで時間がかかります。本館の施設と併せて効果的にご利用ください。

・医学科のものです。文京の図書館は毎回このようなアンケートを実施して下さっていますが、医学科分館にもそのようなアンケートを実施して生徒の意見を反映して頂きたいです。文京の図書館はすごく設備が充実していると感じますが、医学科図書館は13時以降学食が閉まってからは軽食をとれる場所もほぼなければ、電源もすごく少なく（多くは入口の近くや図書館の中でも人通りが多いところで集中もしにくいです）、試験前は取り合いです。ぜひ医学科図書館もアンケートを実施して頂きたいです。

◇ご要望等がございましたら分館 2F 自修室入り口にご意見箱を用意しております。用紙に要望事項をご記入のうえ投函してください。また、コンセントにつきましては館内各エリアの電源容量の限界がありますので、決められた席でご利用ください。

◆その他

・このようなアンケートを行う回数を増やしてほしいです。生協のように利用者カードがあってもいい（すでにあつたらすみません）

◇ご意見投書箱を1階階段前のテーブルに設置している他、MyLibraryのASKでもご意見・ご質問を送ることができます。ご意見箱は回答を氏名がわからないようにして館内掲示します。ASKサービスはご本人あてに回答します。

・飲食可能なスペースを、無料でコーヒーを提供していた期間によく利用していました。有料でもいいので、またコーヒーを提供して頂けたら是非飲みに行きたいです。

◇予算との兼ね合いもあり、今後も続けてコーヒーの提供を行うことは困難ですが、期間限定のサービスでも、喜んでいただけて幸いです。

・仕切りのある座席で1人で勉強する場合のみ、マスク着用は自由にしてほしい。

◇図書館の感染症対策は大学の方針に則って行っております。話をしなくても咳やくしゃみで飛沫が飛び散る可能性はありますので、感染の可能性のあるうちはマスク着用をお願いします。

・職員の業務の参考になる書籍が置いてあることを知らず、図書館にあるものと同じ本を購入してしまいました。職員にも図書館にどんな書籍があるかの宣伝?をしてもらえると利用しやすいです。

◇Twitterで随時新着図書のお知らせをしております。また、OPACでご自宅や携帯電話でも蔵書を検索することができますので、どうぞご利用ください。

・18:00以降も教育学部棟から出入りできるようにしてほしい。

◇本来ならば、教育学部側の出入口にも職員を配置すべきなのですが、人員を割く余裕がありません。職員の勤務している17時までとなるところ、18時までとすることで、5コマの授業終了後にも入館可能としております。これ以上の延長は安全管理の観点からは難しいです。